

事業所名 グループホーム なでしこの家

日付 平成 20年 8月 25日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 医療機関経営者
 実務経験10年以上

高齢者福祉・医療における
 実務経験3年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

「和やかに穏やかに出会ったご縁を大切にしっかりとしたケア個性を認めて残った機能を大切にいつまでも元気で笑顔で楽しく。」の理念もと、決して焦らずコツコツと介護に取り組んでいる。

また、夏祭りには、野菜や手作りのばら寿司などの販売のためにGHの前で出店をしていて、大人気で飛ぶように売れ入居者の励みになっている。

四季毎の楽しみとして、春になれば入居者と一緒に花見に行ったり、ヨモギ餅を作ったりして、その季節に合った行事を職員一丸となって行っている。

評価当日、オカリナ演奏会が執り行なわれていた。GHの入居者も音色に聞き入ったり、一緒に音色にあわせて歌を歌ったりしている入居者も見受けられた。

ケマネージャーは、ホーム内の業務を計画的に効率的にこなせるように試行錯誤しながら、職員にも分かりやすい表や文章で伝える仕組み作りを一生懸命作ろうとしている。職員もそれに応えるべく、日々の介護に取り組んでいる。また、取り組みのひとつとして、入居者の中にはホームの玄関先で「おかえりなさい隊」のタスキを掛けて、下校途中の小学生や中学生の帰りを待ち遠しく待って、会えると元気な声で挨拶をし、子供たちと身近なふれあいをともに感じている。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

入居者に対して、時には少し荒っぽい言葉使いも必要だが、そんな光景が見受けられた。忙しい中でも、入居者の気持ちに立って考える余裕がもう少し必要ではなからうか。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	入居者をグループホームで最期まで看取ることが、ホームにとっての目標である。その目標に向かって日々職員同士で小ミーティングを行い、職員間のコミュニケーション不足解消も同時に図っている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	日中入居者が集まる共用のフロアの壁や廊下には入居者の方々が作成した季節の飾りつけ(春らしい鯉のぼりや、桜等)が施されていたり、職員が牛乳パックを利用して、動物などの紙人形を作成したりして入居者の目を楽しませている。 また、入居者の状況に合わせて、塗り絵が好きな人には色鉛筆で色を塗ってもらったり、料理が好きな人には、料理を手伝ってもらったりしている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	面会で家族が持ってくるお土産は、必ず入居者本人に直接手渡してもらっている。その本人が食べ切れなかったり、処理に困ったりするものもあるので、職員はその入居者から他の入居者の方々に配ることに対して、本人に一言ことわりを入れてから他の入居者の方々に配り、食べてもらうようにしている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	感染症や細菌予防の為に、利用者様の家族以外は極力共同フロアへ出入りさせないようにしている。また、共同フロアでの帳面記入は、絶対に行わないようにしている。 早出、日勤、遅出、夜勤者は、それぞれ時間で(30分や1時間おきに)入居者のトイレ誘導や食事介助、更衣の声掛けを決めて行っている。		